



むつ市総合経営計画
笑顔かがやく 希望のまち むつ
実現のための
5つの基本方針



私たちは、日々大きく変化する社会情勢に適切に対応しながら、むつ市が将来にわたって持続的に発展し、子どもから高齢者まですべての市民のみなさまが笑顔で輝き、未来に向かって輝く夢や希望が持てるまちの実現を目指すため、「笑顔かがやく希望のまちむつ」を将来像に掲げました。

地域を一つの経営体と捉え、地域にあるものを効果的かつ効率的に活用する「地域経営」という視点を持ったむつ市総合経営計画は、市民の皆様と行政が一体となって協働しながら、総合的かつ計画的にまちづくりを実践するためのグランドデザインです。

笑顔かがやく希望のまちむつ実現のための5つの基本方針をご紹介します。

笑顔かがやく 希望のまち むつ



むつ市総合経営計画 5つの基本方針

1 元気の向上



地域資源を活かした経済の持続的成長とともに、雇用の安定と確保に努めることで、人口減少に歯止めをかけ、活気あふれるまちづくりを推進します。併せて、まちを元気にする市民協働の取組や市民の主体的な活動等を推進します。

大畑八幡宮例大祭 渡御の行列 300年記念 ミナカタ祭

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に係る連携・協力に関する協定締結式



協定締結式



合同企業見学会



共育型インターンシップ



企業就職セミナー

【COC+】

「COC+=地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」は、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取り組みに文部科学省が支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。平成27年11月26日には、青森県内の大学・高等専門学校・青森県をはじめ、むつ市を含む4市(青森市・弘前市・八戸市・むつ市)が「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に係る連携・協力協定」を締結し、「青森COC+推進機構」の発足、そして、「オール青森」による取り組みを進めています。

**開かれた市政と
参画・協働のまち**

地域住民と行政が「自助・共助・公助」の役割を果たしていけるまちづくりを目指します



1



2



3



4

1 水産業の振興(写真は海峡ロデオ大畑) 2 農林業の振興(写真はほっかりん生産者) 3 誘致企業との立地協定締結 4 むつ市コミュニティセンター脇野沢温泉



笑顔かがやく 希望のまち むつ



むつ市総合経営計画 5つの基本方針

1 元気の向上

市民と企業と行政が協力し合う 協働型社会の実現に向けて



【漁師の森植樹祭】

恵まれた漁場と豊かな水産資源があるのは、広大な森が生み出す栄養が川を通じて海へ流れ込むためとして、その持続的恩恵が受けられるように漁業関係者を中心として、魚介類を育む森づくりを目的とした植樹をおこなっています。



【農業次世代人材投資事業】

50歳未満の新規就農者を国からの交付金を活用し、経営の不安定な新規就農後5年間毎年最高150万円(夫婦の場合225万円)を支援し、第一次産業の活性化を図っています。



【地方創生に係る包括連携協力に関する協定】

市と市内4金融機関は平成28年4月、「地方創生に係る包括連携協力に関する協定」を締結しました。むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標の達成に向けて、地域の「稼ぐ力」の向上につながる活動を重点的に推進します。



【薬研温泉郷でのグランピング体験】

インターネットで資金を調達する「FAAVO(ファボ)しもきた」を活用し、新しいアイデアや夢を持っている北地域住民の支援をおこなっています。



むつ市コミュニティセンター協野沢温泉

地域の活性化への展開

■ 地方創生

地域資源を活かした、高付加価値商品の開発や地域産業の活性化等に取り組み、将来に向けて安定的な「雇用」の確保・拡大を図ります。また、観光振興による交流人口の増加や県内大学等との連携による地域の将来を担う「人材」の育成等を通じ、若い世代を中心とした定住・移住の促進に繋がります。また、安心して子供を産み育てられるように、人口減少時代に対応したコンパクトシティ構想を軸とし、市民が安全で安心して暮らせる生活環境の整備に尽力を注ぎ、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すための取り組みを効果的に推進します。

■ 産業・雇用

国や県の産業政策と連携することで効果的な事業推進を図り、創業を支援するとともに、既存企業による従来の枠にとらわれない積極的な取り組みを促し、新事業、新産業の創出に結びつく人材の育成を推進します。また、雇用創出に努めるとともに、未来を担う高校生等に対し、むつ市内の企業の業務内容や魅力等を知る機会を提供し、U・I・Jターンを促進し、地域の活性化に繋がっています。

■ 市民協働・コミュニティ

近年は、市民のニーズや価値観の多様化に伴い、複雑化している地域課題に柔軟に対応するために、市民・各種団体・行政などの多様な主体が公共・公益の視点から連携する市民協働のまちづくりが必要となっています。町内会等、既存の組織の活動を支援するとともに、新たなコミュニティの生み出す「地域の力」を発掘する仕組みを検討していきます。

■ 男女共同参画・女性活躍

昨今の少子高齢化に伴い、女性活躍の推進が求められている中、女性のみならず、男性の働き方等も含めて、個人の意識や社会の体制を変革し、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを実現することが不可欠です。個々のニーズに対応した多様な働き方が可能な環境づくりを推進するとともに、家庭内における育児・介護等と社会や地域での活躍の両立を実現するための支援体制の充実を図ります。

町内会マラソンヒアリング



(上) 新規高卒者市内定着支援事業
(左) FAAVOしもきたを活用して改築された新工房でできたチャールズジャム